

授業科目名	家族看護論	担当教員	教授 准教授 講師 助教	若崎淳子・橋本龍樹 秋鹿都子・橋本美幸 伊藤奈美・土江梨奈 井上和子
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択	
開講形態	講義	時間数	30	単位数 2
授業概要				
看護学における家族を理解するための諸理論を学び、看護の対象としての家族について理解を深め、家族看護の実践に向けて臨床や地域等の現場における家族支援のあり方を学ぶ。				
G I O (一般目標)				
1.看護学における家族を理解するための諸理論を学び、看護の対象としての家族について理解を深める。 2.家族看護の実践に向けて、臨床や地域等の現場における家族支援のあり方を学ぶ。				
S B O (行動目標)				
1.家族看護で用いる理論を概観し、看護の対象としての家族について理解を深め、説明できる。 2.実践に向けて、周産期における家族への支援について説明できる。 3.実践に向けて、病気や障がいをもつ子どもの家族への支援について説明できる。 4.実践に向けて、病をもつ高齢者の家族への支援について説明できる。 5.実践に向けて、がん患者の家族への支援について説明できる。 6.実践に向けて、学校における子どもと家族への支援について説明できる。 7.家族に寄り添うということを理解し、家族支援について説明できる。 8.家族に関する事例の記述や検討・討議を通じて、理論(科学的根拠)と事例を統合できる。				
成績評価の方法				
[レポート] 60%				
[プレゼンテーション] 20%				
[受講態度(出席状況を含む)] 20%(毎回の授業への取り組み姿勢、ディスカッション内容等)				
※出席状況は毎時のリアクションペーパーにより確認する。				
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材				
[教科書]				
指定なし				
[参考書]				
1.上別府圭子他:系統看護学講座別巻 家族看護学、医学書院、最新版。 2.鈴木和子、渡辺裕子:家族看護学—理論と実践 第3版、日本看護協会出版会、2006。 3.山崎あけみ、原礼子:家族看護学第2版、南江堂、2015。 4.その他:必要に応じて授業の中で紹介する。				

授業計画

回数	授業日	時間	内 容	学習形態	担 当
1	9月26日(木)	13:00～14:40	ガイダンス 家族看護とは:概論	講義	若崎
2	9月30日(月)	13:00～14:40	病気や障がいをもつ乳幼児期の子どもの家族の支援	講義・演習	秋鹿
3	10月7日(月)	13:00～14:40	病気や障がいをもつ学童期の子どもの家族の支援	講義・演習	秋鹿
4	10月15日(火)	13:00～14:40	病気や障がいをもつ思春期にある子どもをもつ家族の支援	講義・演習	秋鹿
5	10月24日(木)	13:00～14:40	病をもつ高齢者の家族の理解	講義	井上
6	10月31日(木)	13:00～14:40	病をもつ高齢者の家族への支援	講義・演習	伊藤
7	11月7日(木)	13:00～14:40	周産期における家族への支援 その1	講義・演習	橋本美
8	11月14日(木)	13:00～14:40	周産期における家族への支援 その2	講義・演習	橋本美
9	11月21日(木)	13:00～14:40	治療過程に在るがん患者の家族の理解と支援	講義	若崎
10	12月5日(木)	13:00～14:40	学校における子どもへの支援と家族看護 その1	講義	土江
11	12月12日(木)	13:00～14:40	学校における子どもへの支援と家族看護 その2	講義	土江
12	12月19日(木)	13:00～14:40	学校における子どもへの支援と家族看護 その3	講義	土江
13	12月13日(金)	16:50～18:30	家族に寄り添うとは その1	講義	橋本龍
14	12月20日(金)	16:50～18:30	家族に寄り添うとは その2 まとめ	講義	橋本龍

※担当者の都合や授業展開により時間変更あり。